

ワイヤレススピーカー

取扱説明書

はじめに

USB機器を使う

BLUETOOTH機能を使う

音を調整する

その他の操作

その他の情報

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、電源プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

- ① 電源を切る。
- ② 電源プラグをコンセントから抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーの相談窓口にて修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・発熱・発火などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・発熱・発火などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示



火災



感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により
死亡や**大けが**の原因となります。

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない



禁止

清掃用や潤滑油などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。



火災



感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**死亡や大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源コードを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。



禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所に置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止

内部に水や異物を入れない

内部に水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置いたり、本機を水滴のかかる場所に置かないでください。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。



禁止

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

海外では使用しない

交流100 Vの電源でお使いください。海外など、異なる電源電圧の地域で使用すると、火災や感電の原因となります。



指示

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

本機に新聞紙、テーブルクロス、カーテン、布などをかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



禁止

本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火災源を置かないでください。火災の原因となります。



火災



感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

付属の電源コードについて

付属の電源コードは、本機専用です。
他の電気機器では使用できません。



禁止

電源プラグは定期的に手入れをする

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、ショートして、火災の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜き、定期的にゴミやほこりを取ってください。



指示

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤作動による事故の原因となるおそれがあります。



指示

本機を航空機内で使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

本機を医療機器の近くで使わない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。



禁止



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。

上に乗ったり、座ったりしない

落ちてけがの原因となることがあります。また、本機を傷める原因となります。



禁止

大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。



禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。
ボリュームは徐々に上げましょう。



禁止

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

本機を本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。



禁止

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する

異常が起きた場合にプラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるように、電源プラグは容易に手の届くコンセントにつないでください。

通常、本機の電源ボタンを押して切っただけでは、完全に電源から切り離せません。



指示

コード類は正しく配置する

本機の電源コードや音声ケーブルは、足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。



禁止

長時間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

設置上のご注意

本機の角でけがなどをしないように、お気をつけください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機ではリチウムイオン電池を使用しております。

充電電池

充電式内蔵リチウムイオン電池

危険 充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

警告

- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光の当たるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
内蔵充電電池が破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
- 電池が漏液したり、異臭がする時には直ちに火気より遠ざけてください。

目次

マニュアルについて	9
各部の名前と働き	10

はじめに

電源を入れる	13
本機を持ち運ぶ	13
本機を横向きに置く	14
省電力設定について	14
充電する	14

USB機器を使う

USB機器を使う前に	16
ファイルを再生する	16

BLUETOOTH機能を使う

本機とBLUETOOTH機器をペアリング (機器登録)する	18
ワンタッチでBLUETOOTH接続をする (NFC)	20
BLUETOOTH機器の音楽を聞く	21
BLUETOOTH無線技術について	23
高音質なコーデックで再生する (AAC/LDAC™)	23
BLUETOOTHスタンバイモードを 設定する	24
BLUETOOTH機能のオン／オフを 設定する	24
BLUETOOTH経由で「Sony Music Center」と「Fiestable」を使う	25

音を調整する

音量や音質を調整する	26
------------------	----

その他の操作

複数台のスピーカーをケーブルで つないで音楽再生を楽しむ (Party Chain機能)	27
複数台のスピーカーをワイヤレスで 接続して音楽再生を楽しむ (Wireless Party Chain機能)	30
2台のスピーカーでワイヤレス音楽 再生を楽しむ (Speaker Add機能)	31
ライティングと一緒に音楽を楽しむ	33
ハンズフリー通話をする	34
外部機器を使う	35
外部マイクを使う	35
オートスタンバイ機能の設定をする	36
充電電池の消費を抑える	36

その他の情報

対応機器に関する情報	37
困ったときは	37
使用上のご注意	41
本機を廃棄する	42
保証書とアフターサービス	43
主な仕様	44
著作権と商標について	46

マニュアルについて



取扱説明書(本書)

接続方法や基本的な使いかたを説明しています。また、使用上のご注意や主な仕様を記載しています。



ヘルプガイド

本機の使いかたを詳しくお知りになりたい場合は、ヘルプガイドをご覧ください。また、困ったときの対処法もわかりやすく記載しています。パソコンやスマートフォンでご覧いただけます。

URL:

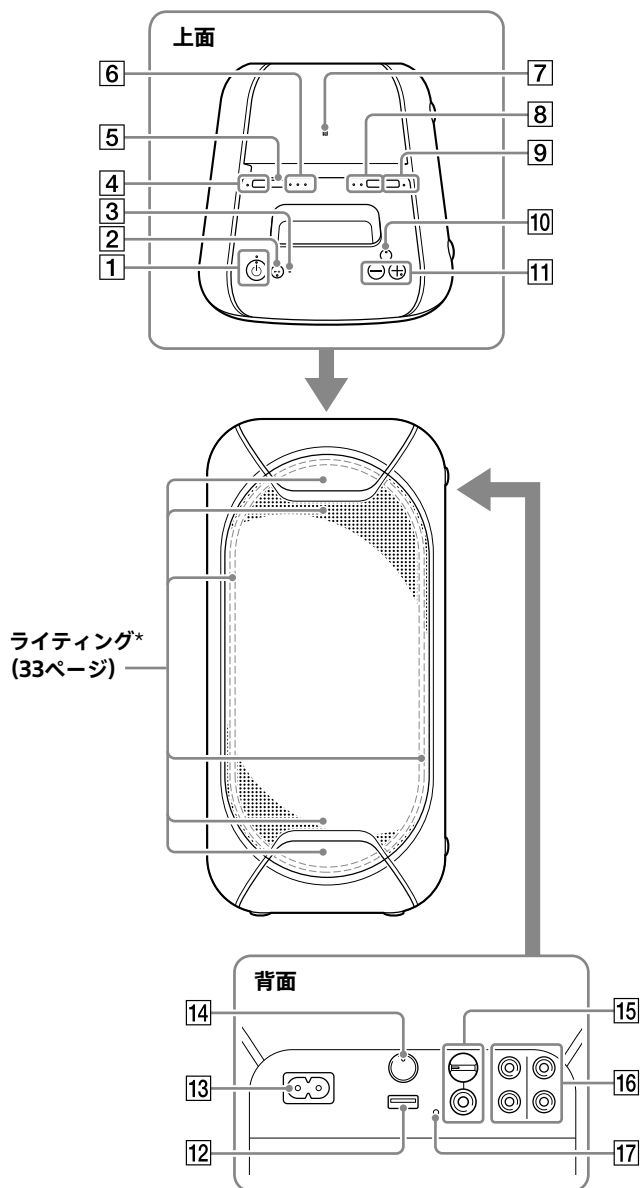
<http://rd1.sony.net/help/speaker/srs-xb60/ja/>

二次元コード：



対応するBLUETOOTH®機器について詳しくは、
下記アクティブスピーカーサポートページをご覧ください。
<https://www.sony.jp/support/active-speaker/>

各部の名前と働き



* ライティングを使用しているときは、発光部を直接見ないでください。

1 **⏻ (電源) ボタン**

本機の電源を入/切します。

⏻ (電源) ランプ

—本機の電源が入っているときに緑色に点灯します。

—本機の電源が切れている間、BLUETOOTHスタンバイモードがオンになっているときにオレンジ色に点灯します。

CHARGE ランプ (14 ページ)

充電電池の充電中にオレンジ色に点灯します。

2 **▶|| (再生/一時停止) / ☎ (通話) * ボタン**

—音楽を再生/一時停止します。

—BLUETOOTH接続した携帯電話でハンズフリー通話を使用するときに、電話を受けたり切ったりします (34 ページ)。

3 **内蔵マイク**

4 **STAMINA ボタン**

(STAMINA – BATTERY ボタン)

—充電電池を使用しているときに、省電力モード (STAMINA モード) をオンにします (36 ページ)。

—長押しして、充電電池の残量を確認します (15 ページ)。

STAMINA ランプ

STAMINA モード起動中に点灯します (36 ページ)。

5 **FUNCTION ボタン**

(FUNCTION – PAIRING ボタン)

—繰り返し押しして、BLUETOOTH、USB または AUDIO IN 機能を選びます。

—BLUETOOTH 機能が選ばれているとき、長押しして BLUETOOTH ペ어링モードに切り替えます。

6 **🔌 (BLUETOOTH) ランプ (23 ページ)**

USB ランプ (16 ページ)

AUDIO IN ランプ (35 ページ)

7 **N (N マーク) (20 ページ)**

8 **ADD ボタン (31 ページ)**

ADD L/R ランプ (31 ページ)

9 **W.PARTY CHAIN ボタン**

(W.PARTY CHAIN – LIGHT ボタン)

—Wireless Party Chain 機能をオンにします (30 ページ)。

—3 秒以上長押ししてライティングをオン/オフします (33 ページ)。

—ライティングデモの実行中に 3 秒以上長押ししてデモを解除します (13 ページ)。

W.PARTY CHAIN ランプ

Wireless Party Chain 機能がオンのときに点灯します (31 ページ)。

10 **EXTRA BASS ボタン**

よりダイナミックなサウンドにします (26 ページ)。

EXTRA BASS ランプ

EXTRA BASS 機能がオンのときに点灯します (26 ページ)。

11 **音量+*/– ボタン**

音量を調節します。

12 **🔌 (USB) ポート (AV 周辺機器用)**

USB 機器を接続するときに使用します。

13 **AC IN 端子 (13 ページ)**

14 **PARTY CHAIN ボタン (29 ページ)**

PARTY CHAIN ランプ (29 ページ)

15 **MIC 端子 (35 ページ)**


MIC LEVEL (MIN/MAX) つまみ (35 ページ)

16 音声出力および入力端子

音声ケーブル(別売)を使用して、以下のいずれかの接続を行います。




- AUDIO/PARTY CHAIN OUT L/R端子
ー外部機器の音声入力端子につながます。
ー別のオーディオ機器をつないで、Party Chain機能を楽しみます(27ページ)。
- AUDIO/PARTY CHAIN IN L/R端子
ーテレビやオーディオ/ビデオ機器の音声出力端子につながます。本機から音声が出力されます。
ー別のオーディオ機器をつないで、Party Chain機能を楽しみます(27ページ)。

17 RESETボタン(40ページ)

*  および音量+ボタンには、凸点(突起)が付いています。操作するときの目印としてお使いください。

ランプの状態について

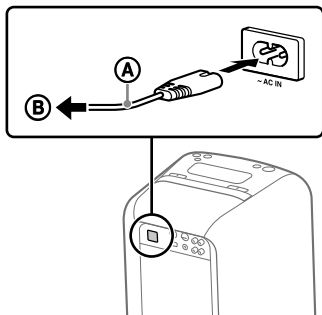
図で示している本機のランプの状態は次のとおりです。

ランプの状態	図
点滅	
点灯	
消灯	

はじめに

電源を入れる

- 1 電源コード(付属)を本機背面のAC IN端子につないだあと、壁のコンセントにつなぐ。



① 電源コード(付属)

② 壁のコンセントへ

本機はライティングデモモードで起動し、自動的にデモが始まります。

- 2 〇を押して電源を入れる。

〇ランプが緑色に点灯します。

💡ちょっと一言

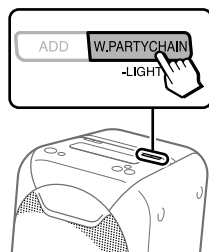
内蔵の充電電池が充電されている場合は、電源コード(付属)を壁のコンセントにつなぐ代わりに充電電池で本機を使用できます。詳しくは、「充電する」(14ページ)をご覧ください。

ライティングデモを解除する

ライティングデモの実行中にW.PARTY CHAIN - LIGHTを3秒以上長押しする。

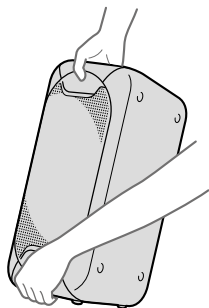
デモが終了し、本機はスタンバイ状態になります。

スタンバイ状態中にW.PARTY CHAIN - LIGHTを長押しするか、電源コードを抜いて再度つなぐと、本機はライティングデモモードになります。



本機を持ち運ぶ

本機を持ち運ぶ前にすべてのコードを抜いてください。

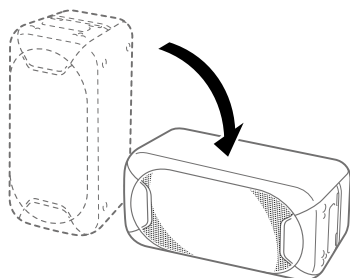


ご注意

人身事故や周辺の家財への損害を避けるために、必ず正しい手の置きかたをして本機を持ち運んでください。

本機を横向きに置く

下図のように本機を横向きに置くこともできます。(ゴム足が付いている側を下にしてください。)



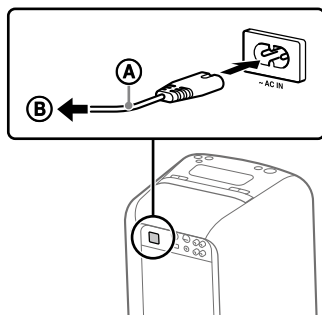
省電力設定について

- お買い上げ時は、何も操作がないか音声信号が検出されないまま約15分経過すると、自動的に本機の電源が切れるよう設定されています。詳しくは、「オートスタンバイ機能の設定をする」(36ページ)をご覧ください。
- STAMINAモードを使うと、充電電池使用時の消費電力を抑えられます。詳しくは、「充電電池の消費を抑える」(36ページ)をご覧ください。

充電する

内蔵の充電電池が十分に充電されている場合は、充電電池のみで本機を使用できます。

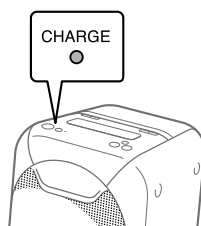
電源コード(付属)を本機背面のAC IN端子につないだあと、壁のコンセントにつなぐ。



① 電源コード(付属)

② 壁のコンセントへ

CHARGEランプがオレンジ色に点灯します。
約4時間で充電が完了し、ランプが消灯します。



ご注意

- 使用状況によって、充電により時間がかかる場合があります。
- 本機を長期間使用するつもりがない場合でも、充電池の性能維持のために半年に1度は容量いっぱいまで充電してください。
- 周りの温度が非常に高いところや低いところでは、安全のために充電を停止します。また、長時間充電が続いても充電を停止することがあります。その場合、CHARGEランプはオレンジ色に速く点滅し続けますが、故障ではありません。使用可能温度(5℃から35℃)の範囲内で電源コードを抜き差ししてから、もう一度充電を行ってください。

💡 ちょっと一言

充電中でも本機を操作できます。

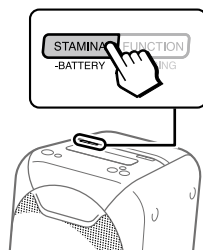
充電池の残量を確認する

音声ガイドンスで充電池の残量を確認できます。

「Sony | Music Center」(25ページ)で確認することもできます。

1 電源ボタンを押して電源を入れる。

2 STAMINA - BATTERYを長押しする。



3 音声ガイドンスが聞こえ、充電池の残量に応じて以下のとおりCHARGEランプが点滅します。

メッセージ (充電池の残量)	ランプ点滅
「約100%」 (80% ~ 100%)	4 回
「約 70%」 (60% ~ 79%)	3 回
「約 50%」 (30% ~ 59%)	2 回
「約 20%」 (11% ~ 29%)	1 回
「充電してください」 (10% 未満)	連続

💡 ちょっと一言

充電池の残量が10%未満になると、自動的に「充電してください」とお知らせします。

USB機器を使う

USB機器を使う前に

対応USB機器については、「対応機器に関する情報」(37ページ)をご覧ください。

ご注意

- USBケーブルでの接続が必要な場合は、USB機器に付属のUSBケーブルをお使いください。操作方法について詳しくは、USB機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- USBハブ経由で本機とUSB機器をつながないでください。
- USB機器が接続されているときは、本機はUSB機器内のすべてのファイルを読み取ります。USB機器内に多くのフォルダーやファイルがある場合は、USB機器の読み取り完了までに時間がかかることがあります。
- USB機器によっては、本機からの操作が実行されるまでに遅れが生じることがあります。
- すべてのエンコード／書き込みソフトとの互換性は保証できません。USB機器内の音声ファイルが互換性のないソフトでエンコードされていた場合は、ノイズや音声の途切れが生じたり、再生できないことがあります。
- 本機は、つないだUSB機器で提供されているすべての機能に必ずしも対応していません。

本機をバッテリー充電器として使うには充電機能付きUSB機器のバッテリー充電器として本機を使用できます。

ψ(USB)ポートにUSB機器をつなぐ。

ψ(USB)ポートにUSB機器をつなぐと、充電が始まります。詳しくは、USB機器の取扱説明書を参照してください。

ご注意

本機を壁のコンセントにつなぐに充電電池で使用しているときは、本機の電源を入れてください。本機の電源が入っていないと、つないだUSB機器を充電できません。

ファイルを再生する

本機は以下の音声ファイルフォーマットに対応しています。

- MP3：ファイル拡張子「.mp3」
- WMA：ファイル拡張子「.wma」

1 本機のUSBランプが点灯するまでFUNCTIONを繰り返し押す。

2 ψ(USB)ポートにUSB機器をつなぐ。

3 ▶||/⏮を押して再生を開始する。

「Sony | Music Center」(25ページ)を使って、再生操作を行ったり、USB機器の音楽リストから簡単に音楽を選んだりすることができます。

4 音量+/-ボタンを押して音量を調節する。

他の操作

できること	操作
再生を一時停止する	▶II/⏸を押す。続きから再生するには、もう一度▶II/⏸を押す。
次の曲を再生する	▶II/⏸を2回押す。
前の曲を再生する	▶II/⏸を3回押す。

ご注意

- 以下の場合、本機はUSB機器内の音声ファイルを再生できません。
 - USB機器内の音声ファイル数が999を超えているとき
 - USB機器内のフォルダー数が75(「ROOT」フォルダーおよび空のフォルダーを含む)を超えているとき
 上記の数はファイルやフォルダー構造によって異なります。音声ファイルの入ったUSB機器には、他の種類のファイルや不要なフォルダーを保存しないでください。
- 本機が再生できるフォルダーは8階層目までです。
- 音声ファイルを含まないフォルダーはスキップされます。
- 正しい拡張子を持つファイル名であったとしても、実際には異なるファイルの場合は、本機がノイズを出したり正常に動作しないことがあります。

BLUETOOTH機能を使う

本機とBLUETOOTH機器をペアリング(機器登録)する

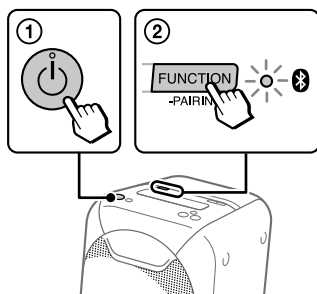
ペアリングとは、BLUETOOTH機器どうしをあらかじめ登録する操作です。一度ペアリングを行うと、その機器どうしは次回以降ペアリングを行う必要はありません。

お使いの機器がNFC対応の場合は、手動でペアリングを行う必要はありません。(詳しくは「ワンタッチでBLUETOOTH接続をする(NFC)」(20ページ)をご覧ください。)

1 本機とBLUETOOTH機器を1m以内に置く。

2 BLUETOOTH機能を選ぶ。

- ① 本機の \odot を押して電源を入れる。
- ② Bluetooth (BLUETOOTH) ランプがゆっくり点滅するまでFUNCTIONを繰り返し押す。



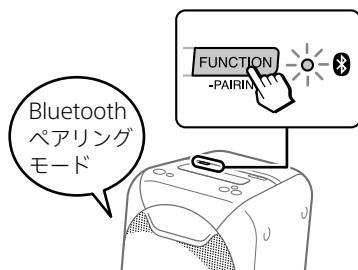
💡 ちょっと一言

お買い上げ後初めてBLUETOOTH機能を使う場合など、本機にペアリング情報がない場合は、

Bluetooth (BLUETOOTH) ランプが速く点滅して、本機が自動的にペアリングモードになります。その場合は、手順4へ進んでください。

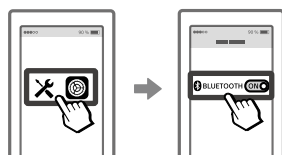
3 FUNCTION - PAIRINGを3秒以上長押しする。

「Bluetooth ペアリングモード」という音声ガイダンスが流れ、 Bluetooth (BLUETOOTH) ランプが速く点滅します。



4 接続するBLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能をオンにする。

詳しくは、お使いのBLUETOOTH機器の取扱説明書をご覧ください。




5 BLUETOOTH機器の画面に表示される「SRS-XB60」を選ぶ。

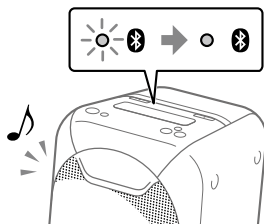


ご注意

BLUETOOTH機器上でパスキーを要求される場合は「0000」を入力してください。「パスキー」は「パスコード」、「PINコード」、「PINナンバー」、「パスワード」と呼ばれる場合もあります。


6 BLUETOOTH接続が確立されたことを確認する。

一度BLUETOOTH接続が確立されると、本機から通知音が流れ、 (BLUETOOTH) ランプが点滅から点灯に変わります。



お使いのBLUETOOTH機器によっては、ペアリングが完了すると自動的に接続が確立される場合もあります。

ご注意

- 本機は合計8台までのBLUETOOTH機器をペアリングすることができます。9台目のBLUETOOTH機器がペアリングされると、8台の中で接続履歴の一番古い機器の情報が消去されます。
- 別のBLUETOOTH機器をペアリングする場合は、手順1から6を繰り返してください。
- 前回接続されたBLUETOOTH機器が近くにある場合は、自動的にBLUETOOTH接続が確立され、 (BLUETOOTH) ランプが点灯します。

BLUETOOTH接続を切断するには

接続された機器のBLUETOOTH機能をオフにする。

ご注意

お使いのBLUETOOTH機器によっては、音楽再生を停止すると自動的にBLUETOOTH接続が切断される場合があります。

すべてのペアリング情報を消去する

本機をお買い上げ時の状態に戻すと、すべてのペアリング情報が消去されます。詳しくは、「本機をお買い上げ時の設定に戻す」(40ページ)をご覧ください。

ご注意

本機側のペアリング情報がいったん削除されると、パソコンやiPhone/iPod touchが本機に接続できないことがあります。その場合は、パソコンやiPhone/iPod touch側のペアリング情報を削除してから、もう一度ペアリング操作を行ってください。

ワンタッチで BLUETOOTH接続を する(NFC)

NFC (Near Field Communication) とはスマートフォンやICタグなど、さまざまな機器間で近距離無線通信を行うための技術です。

NFCに対応したスマートフォンを本機にタッチすると、次の操作が自動的に行われます。

- お使いの機器のBLUETOOTH機能をオンにする。
- 本機とペアリングし、BLUETOOTH接続を確認する。

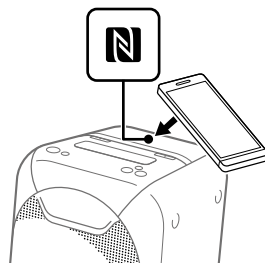
対応スマートフォン

NFC機能を搭載したスマートフォン(OS : Android™ 2.3.3以降、Android 3.xを除く)


1 スマートフォンやタブレットなどの BLUETOOTH機器のNFC機能をオン にする。

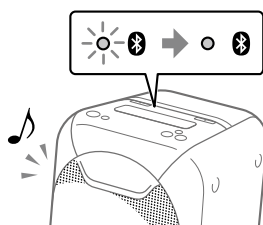


2 BLUETOOTH機器が本機に反応する まで、BLUETOOTH機器を本機のN マークにタッチする。



BLUETOOTH機器に表示される手順に従って接続を完了してください。

BLUETOOTH接続が確立されると、本機から通知音が流れ、 (BLUETOOTH) ランプが点滅から点灯に変わります。



💡 ちょっと一言

ペアリングとBLUETOOTH接続に失敗したときは、下記を試してください。

- 市販のスマートフォンのケースを使用している場合は、ケースを外す。
- スマートフォンを本機のNマークにもう一度タッチする。
- BLUETOOTH機器の画面のロックを解除する。

BLUETOOTH接続を切断するには

BLUETOOTH機器を本機のNマークにもう一度タッチする。

すべてのペアリング情報を 消去する

本機をお買い上げ時の状態に戻すと、すべてのペアリング情報が消去されます。詳しくは、「本機をお買い上げ時の設定に戻す」(40ページ)をご覧ください。

ご注意

本機側のペアリング情報がいったん削除されると、パソコンやiPhone/iPod touchが本機に接続できないことがあります。その場合は、パソコンやiPhone/iPod touch側のペアリング情報を削除してから、もう一度ペアリング操作を行ってください。

BLUETOOTH機器の 音楽を聞く

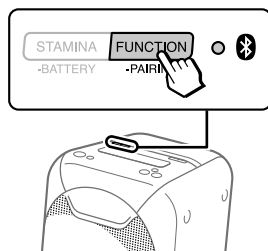
接続したBLUETOOTH機器の音楽を聞くことができます。

音楽を再生する前に下記を確認してください。

- ー BLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能がオンになっている。
- ー ペアリングが完了している(18ページ)。

1 ⑧(BLUETOOTH)ランプが点灯する まで、FUNCTIONを繰り返し押す。

前回接続されたBLUETOOTH機器は自動的に接続されます。



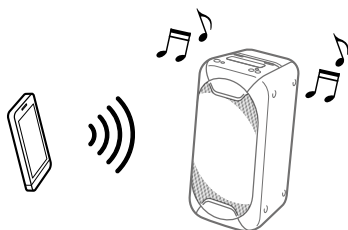
ご注意

- ⑧(BLUETOOTH)ランプが点滅している場合は、BLUETOOTH接続が確立されていません。ペアリングを行い、BLUETOOTH接続を確立させてください。
- 接続したい機器と違う機器が接続されている場合は、接続されている機器のBLUETOOTH機能をオフにするか、電源を切ってください。

2 BLUETOOTH機器の音源を再生する。

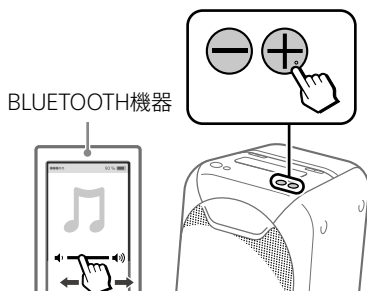
詳しくは、お使いのBLUETOOTH機器の取扱説明書をご覧ください。

本機の▶||/◀を押しても、音楽を再生、停止することができます。



3 音量を調節する。

はじめにBLUETOOTH機器の音量を調節してください。それでも音量が小さい場合は、本機の音量+/-ボタンで音量を調節してください。



ご注意

スマートフォンによる以下の遠隔操作は、本機が見える位置からのみ行ってください。

- －再生／停止／一時停止
- －曲送り／曲戻し
- －音量の調整
- －消音
- －リピート／シャッフル再生

同時に接続している BLUETOOTH機器を切り替 えて音楽を再生する(マルチ デバイス接続)

最大3台のBLUETOOTH機器を同時に接続できます。

ある接続機器から音楽を再生中に、別の接続機器で音楽再生操作を行うと、操作した機器からの音楽に切り替えられます。

ご注意

- ハンズフリー機能、Speaker Add機能、Wireless Party Chain機能を使用している時は、マルチデバイス接続はできません。
- お使いのBLUETOOTH機器によっては、3台同時にBLUETOOTH接続をできない場合があります。

BLUETOOTH無線技術について

BLUETOOTH無線技術は、デジタル機器どうしで無線データ通信を行うための近距離無線技術です。およそ10 mの範囲内で通信を行うことができます。

対応するBLUETOOTH機器のバージョン、プロファイルおよびコーデック

詳しくは「BLUETOOTH部」(45ページ)をご覧ください。

🔊 (BLUETOOTH) ランプについて

本機の🔊 (BLUETOOTH) ランプは青く点灯、または点滅してBLUETOOTH接続の状態をお知らせします。

本機の状態	ランプの状態
BLUETOOTH接続待機中	ゆっくり点滅
BLUETOOTHペアリング中	速く点滅
BLUETOOTH接続完了	点灯

高音質なコーデックで再生する (AAC/LDAC™)

本機はBLUETOOTH機器からのデータを、AACまたはLDACコーデックフォーマットで受信できます。これにより、音源を高音質で再生できます。

「Sony | Music Center」(25ページ)のアプリを使って、オーディオコーデックオプションを下記のいずれかに設定できます。お買い上げ時は「AUTO」に設定されています。

- AUTO : 再生機器で使用されているコーデックを検出し、「SBC」、「AAC*」、「LDAC*」の中から最適なコーデックを使用します。
- SBC : 再生機器で使用されているコーデックに関わらず、常に「SBC」を使用します。

* お使いのBLUETOOTH機器が対応している場合のみ有効です。

設定の変更を反映するには、BLUETOOTH接続を切断し(19ページ)、もう一度BLUETOOTH接続を行ってください。

ご注意

お使いの再生機器がAACやLDACに対応していて、本機能を「AUTO」に設定している場合に、高音質な音楽再生を楽しめます。ただし、BLUETOOTH通信の状態によっては、音が途切れたりすることがあります。その場合は、本機能を「SBC」に設定してください。

LDACは、ソニーが開発した、ハイレゾ音源をBLUETOOTH経由でも伝送可能とする音声圧縮技術です。SBCなどの既存BLUETOOTH向け圧縮技術とは異なり、ハイレゾ音源をダウンコンバートすることなく処理します¹⁾。また極めて効率的な符号化やパケット配分の最適化を施すことで、従来技術比約3倍²⁾のデータ量の送信を可能とし、これまでにない高音質のBLUETOOTH無線伝送を実現しています。

¹⁾ DSDフォーマットは除く。

²⁾ 990 kbps (96/48 kHz)または909 kbps (88.2/44.1 kHz)のビットレートを選択した場合のSBC (Sub Band Codec)との比較。

BLUETOOTHスタンバイモードを設定する

BLUETOOTHスタンバイモードを有効にすると、BLUETOOTH機器とBLUETOOTH接続を確立させたときに、自動的に本機の電源がオンになります。この機能は、お買い上げ時はオフに設定されています。

「Sony | Music Center」アプリからのみ、設定を変更できます。「Sony | Music Center」について詳しくは、「BLUETOOTH経由で「Sony | Music Center」と「Fiestable」を使う」(25ページ)をご覧ください。

ご注意

BLUETOOTHスタンバイモードは電源コードが接続されているときのみ使用できます。

ちょっと一言

スタンバイ時の電力消費を抑えたい場合は、BLUETOOTHスタンバイモードをオフにしてください。

BLUETOOTH機能のオン/オフを設定する

BLUETOOTH機能をオンにしておくと、ペアリング情報が登録されているBLUETOOTH機器を本機に接続できます。この機能は、お買い上げ時はオンに設定されています。

BLUETOOTH機能をオフにするには、**STAMINA - BATTERY**と**W.PARTY CHAIN - LIGHT**を5秒以上長押しする。

AUDIO INランプが1回点滅します。

ご注意

- BLUETOOTH機能をオフにすると下記の操作ができません。
 - BLUETOOTH機器とのペアリングや接続を行う。
 - BLUETOOTH経由で「Sony | Music Center」を使う。
- BLUETOOTH機能をオンにするには、上記の操作を繰り返してください。BLUETOOTH機能をオンにすると、AUDIO INランプが3回点滅します。

BLUETOOTH経由で 「Sony | Music Center」と 「Fiestable」を使う

アプリについて



Sony | Music Center



Fiestable

お使いのスマートフォンやiPhoneで無料のアプリ、「Sony | Music Center」と「Fiestable」を使って本機をお楽しみいただけます。

「Sony | Music Center」と「Fiestable」は、Google PlayとApp Storeから入手できます。

1 お使いのスマートフォンやiPhoneで「Sony | Music Center」を検索してダウンロードする。

下記の二次元コードを読み取ってダウンロードすることもできます。



2 「Fiestable」を検索してダウンロードする。

3 本機とスマートフォンやiPhoneとのBLUETOOTH接続を確立させる。

BLUETOOTH接続について詳しくは、「本機とBLUETOOTH機器をペアリング(機器登録)する」(18ページ)、または「ワンタッチでBLUETOOTH接続をする(NFC)」(20ページ)をご覧ください。

4 「Sony | Music Center」を起動して「Fiestable」を使う。



「Sony | Music Center」でできること

- USB機器の音楽再生、再生モードの設定
- プリセットEQやカスタムEQを使った音質調整
- DJ EFFECTを使った音響効果の調整
- 複数スピーカーのワイヤレス操作(Wireless Party Chain機能、Speaker Add機能使用時)
- 充電電池残量の確認
- 各種設定の確認、変更

「Fiestable」でできること

- DJ Control
- Illumination
- Motion Control

▶詳しくは「Sony | Music Center」ヘルプをご覧ください。

<http://info.vssupport.sony.net/help/>



ご注意

- 「Sony | Music Center」が正しく動作しない場合は、BLUETOOTH接続をいったん切断してから(19ページ)やり直して、BLUETOOTH接続が正しく機能するようにしてください。
- 「Sony | Music Center」でできることはお使いの機器によって異なる場合があります。
- 仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

音を調整する

音量や音質を調整する

できること	操作
音量を調節する	音量+/-ボタンを押す。
よりダイナミックなサウンドにする	EXTRA BASSを押す。 EXTRA BASS機能がオンになると、EXTRA BASSランプが赤色に点灯します。

その他の操作

複数台のスピーカーをケーブルでつないで音楽再生を楽しむ(Party Chain機能)

複数のスピーカーをひと続きにつなげることによって、より楽しいパーティー環境にするとともに、より大きな音声出力を得られます。

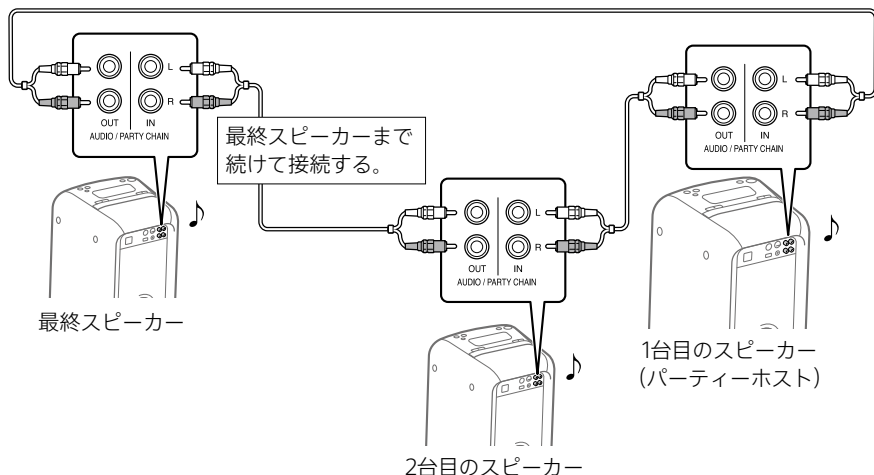
Party Chainを起動した1台目のスピーカーは「パーティーホスト(Party Host)」と呼ばれ、他のスピーカーと音楽を共有します。残りのスピーカーは「パーティーゲスト(Party Guest)」となり、「パーティーホスト」で再生される音楽と同じ音楽を再生します。

Party Chainをセットする

すべてのスピーカーを音声ケーブル(別売)で接続して、Party Chainをセットします。ケーブルをつなぐ前に、スピーカーの電源を切り、電源コードを抜いてください。

A すべてのスピーカーがParty Chain機能に対応している場合

例：本機を1台目のスピーカー(パーティーホスト)として接続するとき



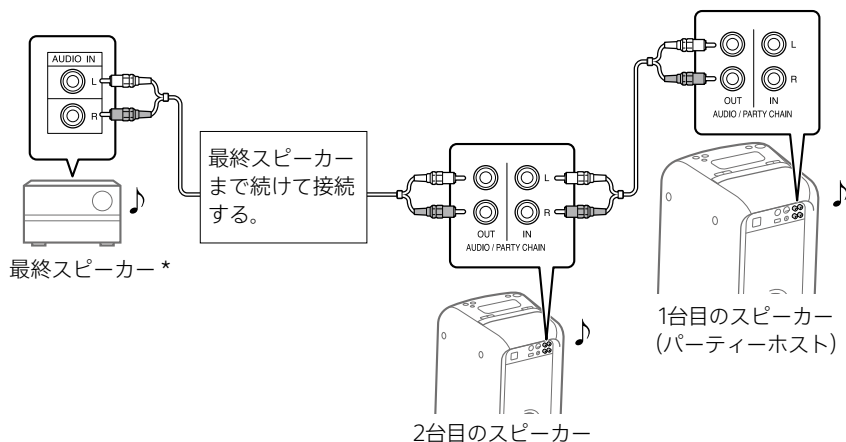
- どのスピーカーもパーティーホストになれます。つなげたスピーカー間でパーティーホストを別のスピーカーに変えることもできます。詳しくは、「新たなパーティーホストを選ぶには」(29ページ)をご覧ください。
- (BLUETOOTH) 機能、またはUSB機能が選ばれていることを確認してください。AUDIO IN機能が選ばれていると、この機能は使えません。

ご注意

必ずしも1台目のスピーカーと最終スピーカーをつなぐ必要はありません。その場合、パーティーホストになれるのは1台目のスピーカーのみです。

③ Party Chain機能に対応していないスピーカーが1台ある場合

例：本機を1台目のスピーカー（パーティーホスト）として接続するとき



* Party Chain機能に対応していないスピーカーを最終スピーカーとしてつなげてください。最終スピーカーでは音声入力機能が選ばれていることを確認してください。この構成の場合、最終スピーカーからの音声出力が他より遅れる場合があります。

- 最終スピーカーと1台目のスピーカーはつながないでください。
- 必ず1台目のスピーカーをパーティーホストとして設定してください。Party Chain機能がオンになると、つながれたすべてのスピーカーが同じ音楽を再生します。

Party Chainを楽しむ

**例：本機をパーティーホストとして使用する
場合**

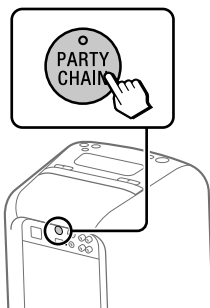
1 すべてのスピーカーの電源を入れる。

2 本機のParty Chain機能をオンにする。

- ① 本機のFUNCTIONを繰り返し押し、使いたい機能を選ぶ。

A (27ページ)の構成で接続した場合、AUDIO IN機能を選ばないでください。AUDIO IN機能を選ぶと、音声が出力されません。

- ② 音楽再生を開始し、本機背面のPARTY CHAINを押す。



PARTY CHAINランプが点灯します。パーティーホストがParty Chainを開始し、その他のスピーカーは自動的にパーティーゲストになります。パーティーホストで再生されている音楽がすべてのスピーカーで再生されます。

3 各スピーカーの音量を調節する。

ご注意

- つないだスピーカーの数によっては、パーティーゲストが音楽を再生するのに時間がかかる場合があります。
- パーティーホストの音量を調節したり、音響効果を変更しても、パーティーゲストの音声出力には影響しません。
- 他のスピーカーの操作について詳しくは、各スピーカーの取扱説明書をご覧ください。

新たなパーティーホストを選ぶには

A (27ページ)の構成で接続した場合のみ、新しいパーティーホストを選べます。新しいパーティーホストとして設定したいスピーカーで、「Party Chainを楽しむ」の手順2を繰り返してください。現在のパーティーホストは、自動的にパーティーゲストになります。新しいパーティーホストで再生されている音楽と同じ音楽が、すべてのスピーカーで再生されます。

ご注意

- すべてのスピーカーのParty Chain機能がオンになったあと、新しいパーティーホストを選べます。
- 選んだスピーカーが数秒たっても新しいパーティーホストにならなかった場合、「Party Chainを楽しむ」の手順2をもう一度繰り返してください。

Party Chain機能をオフにするには

パーティーホストのPARTY CHAINを押す。

Party Chainランプについて

PARTY CHAINランプが点灯、または点滅して本機の状態をお知らせします。

本機の状態	ランプの状態
パーティーホスト	点灯
パーティーゲスト	点滅

複数台のスピーカーをワイヤレスで接続して音楽再生を楽しむ(Wireless Party Chain機能)

すべてのスピーカーがWireless Party Chain機能に対応している場合、BLUETOOTH経由で複数のスピーカーをひと続きにつなぐことができます。これによりケーブルで接続することなく、より楽しいパーティー環境にするとともに、より大きな音声出力を得られます。

Wireless Party Chainを起動した1台目のスピーカーは「パーティーホスト(Party Host)」と呼ばれ、他のスピーカーと音楽を共有します。残りのスピーカーは「パーティーゲスト(Party Guest)」となり、「パーティーホスト」で再生される音楽と同じ音楽を再生します。

Wireless Party Chainをセットして楽しむ

例：本機を1台目のスピーカー（パーティーホスト）として設定する場合

1 すべてのスピーカーの電源を入れる。

2 本機をパーティーホストとして設定する。

- ① 本機の ⓧ (BLUETOOTH)ランプが点滅するまで、FUNCTIONを繰り返し押す。
- ② 本機にBLUETOOTH機器をBLUETOOTH接続する。
- ③ W.PARTY CHAINを押す。
W.PARTY CHAINランプが点滅し、本機がWireless Party Chainモードに切り替わります。

3 2台目のスピーカーをパーティーゲストとして設定する。

- ① 2台目のスピーカーの ⓧ (BLUETOOTH)ランプが点滅するまで、FUNCTIONを繰り返し押す。
- ② 2台目のスピーカーのW.PARTY CHAINを押す。
2台目のスピーカーがパーティーゲストとして設定されます。
- ③ パーティーゲストのW.PARTY CHAINランプが点滅し、パーティーホストのW.PARTY CHAINランプが点滅から点灯に変わったことを確認する。

ご注意

下記の場合、Wireless Party Chain機能は解除されます。

- 手順2でパーティーホストを設定してから、1分以内に手順3の操作をしなかったとき。
- 手順3が完了する前にパーティーホストのW.PARTY CHAINを押したとき。

4 3台目以降のスピーカーをパーティーゲストとして設定する。

手順3を繰り返してください。

ご注意

3台目以降のスピーカーを設定する場合は、ひとつ前のスピーカーを設定してから30秒以内に行ってください。30秒以上経過すると、接続できなくなります。

5 パーティーホストの音源を再生する。

6 各スピーカーの音量を調節する。

Wireless Party Chain機能を解除するには

パーティーホストのFUNCTIONを押すか、電源を切る。

1台のパーティーゲストのみWireless Party Chainから除外するには

除外したいパーティーゲストのFUNCTIONを押すか、電源を切る。この場合、残りのWireless Party Chainは維持されます。

ご注意

Wireless Party Chain機能では、Party Chain機能のようにパーティーゲストとパーティーホストを切り替えることはできません。

💡ちょっと一言

Wireless Party Chainがすでに完了した後で新しいパーティーゲストを追加する場合は、手順2の③からの操作を繰り返してください。

Wireless Party Chainランプについて


本体のW.PARTY CHAINランプが点灯、または点滅して本機の状態をお知らせします。

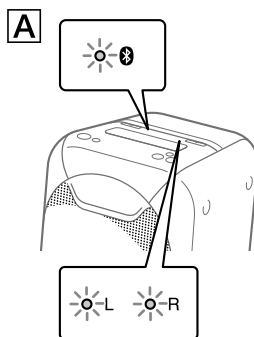
本機の状態	ランプの状態
パーティーホスト	点灯
パーティーゲスト	点滅


2台のスピーカーでワイヤレス音楽再生を楽しむ(Speaker Add機能)


この機能を使うには、2台のSRS-XB60が必要です。2台のスピーカーをBLUETOOTH接続して、よりパワフルな音楽を楽しめます。また、音声の出力方法を、2台とも同じ音声を再生するダブルモード、および2台一組でステレオ再生するステレオモードの2つから選べます。下記の手順では、2つのスピーカーはそれぞれ「スピーカー [A]」と「スピーカー [B]」として説明しています。

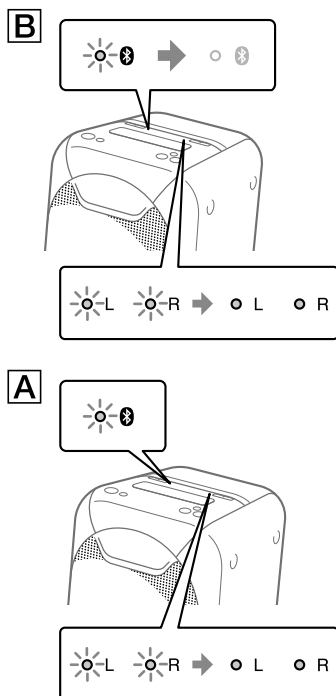
Speaker Add機能をオンにするには

- 1 2台のSRS-XB60を1 m以内に置く。
- 2 スピーカー [A]のFUNCTIONを、 (BLUETOOTH) ランプが点滅するまで繰り返し押す。
- 3 スピーカー [A]のADDを押す。
ADD L/Rランプが点滅し、スピーカーがSpeaker Addモードに切り替わります。



4 スピーカー **[B]**のFUNCTIONを、 (BLUETOOTH)ランプが点滅するまで繰り返し押す。

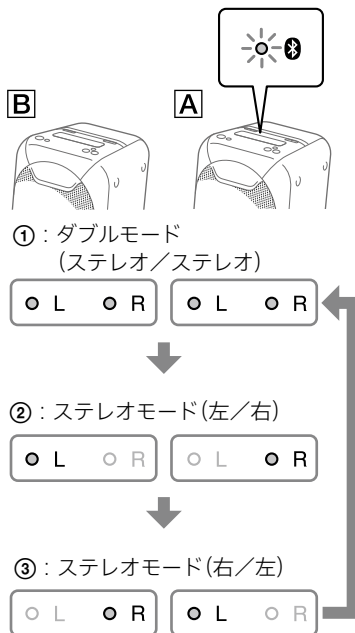
5 スピーカー **[B]**のADDを押す。
ADD L/Rランプが点滅します。 両方のスピーカーのADD L/Rランプが点滅から点灯に変わり、スピーカー **[B]**の  (BLUETOOTH)ランプが消えます。



ちょっと一言

接続がすばやく完了すると、スピーカー **[B]**の ADD L/Rランプは点滅せずにそのまま点灯になる場合があります。

6 スピーカー **[A]**のADDを繰り返し長押しして出力モードを切り替える。
両方のスピーカーのADD L/Rランプが現在の出力モードを示しています。
ADDを長押しするたびに、出力モードが次のとおり切り替わります。



2台のスピーカーで音楽を再生する

- 1 スピーカー **[A]**をペアリングモードにしてBLUETOOTH機器とBLUETOOTH接続を行う。
ペアリングについて詳しくは、「本機とBLUETOOTH機器をペアリング(機器登録)する」(18ページ)、または「ワンタッチでBLUETOOTH接続をする(NFC)」(20ページ)をご覧ください。
必ずスピーカー **[A]** (1台目のスピーカー)とBLUETOOTH機器を接続してください。

2 BLUETOOTH機器の音源を再生して、音量を調節する。

詳しくは「BLUETOOTH機器の音楽を聞く」(21ページ)をご覧ください。
片方のスピーカーの音量を調節すると、もう一方のスピーカーの音量も自動で調節されます。

ご注意

- スピーカーに接続されているBLUETOOTH機器に、BLUETOOTHマウスやBLUETOOTHキーボードなどの他のBLUETOOTH機器が接続されている場合は、スピーカーから出力される音がひずんだり、ノイズがある場合があります。その場合は、BLUETOOTH機器と他のBLUETOOTH機器とのBLUETOOTH接続を切断してください。
- Speaker Add機能を使用中に片方のスピーカーをリセットする場合は、もう一方のスピーカーの電源を切ってください。Speaker Add機能を再起動する前に、もう一方のスピーカーの電源を切らないと、BLUETOOTH接続や出力音声に問題が起きることがあります。

Speaker Add機能を解除するには

ADDを押す。ADD L/Rランプが消灯します。

💡ちょっと一言

本機能を解除しないと、次回スピーカーの電源を入れたとき、スピーカーは前回のSpeaker Add接続を再現しようとします。

ライティングと一緒 に音楽を楽しむ

お買い上げ時は、ライティングがオンになっています。

「Sony | Music Center」(25ページ)を使って、次のようなさまざまなライトモードを選ぶこともできます。

- RAVE：フラッシュを多用したダンスミュージック向けのライトモード
- CHILL：くつろいだ音楽向けのライトモード
- RANDOM FLASH OFF：ダンスミュージックを含むすべての音楽に適したフラッシュ無しのライトモード
- HOT：暖色系ライトモード
- COOL：寒色系ライトモード
- STROBE：白色フラッシュを用いたライトモード

ライティングをオフにするには

W.PARTY CHAIN - LIGHTを長押しする。
ライティングをオンにするには、もう一度W.PARTY CHAIN - LIGHTを長押ししてください。

ご注意

ライティングの明るさがまぶしい場合は、部屋の照明をつけるかライティングをオフにしてください。

ハンズフリー通話をする

HFP (Hands-free Profile)またはHSP (Headset Profile)に対応したBLUETOOTH対応携帯電話で、ハンズフリー通話ができます。

この機能を使うには、BLUETOOTH接続が確立されていることを確認してください。

ご注意

スマートフォンの機種、インストールされているOSやアプリによっては、ハンズフリー通話機能の一部が正しく使用できない場合があります。

電話を受ける

1 着信中に▶||/📞を押して電話を受け

着信があると、再生中の音楽が一時停止し、スピーカーから着信音が聞こえます。



ご注意

着信中に▶||/📞を長押しすると、着信を拒否します。

2 本機の内蔵マイクに向かって話す。

3 ▶||/📞を押して電話を切る。

電話をかける

1 本機につないだBLUETOOTH対応携帯電話を操作して発信する。

発信すると、再生中の音楽が一時停止し、スピーカーから発信音が聞こえます。

2 発信先に電話が通じたら、本機の内蔵マイクに向かって話す。

3 ▶||/📞を押して電話を切る。

ご注意

通話中に▶||/📞を長押しすると、通話の出力先が本機から携帯電話のスピーカーに切り替わります。

💡ちょっと一言

- お使いのBLUETOOTH対応携帯電話がHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFPに設定してください。
- 通話する前に音楽を聞いていた場合は、電話を切ると音楽の続きが再生されます。
- BLUETOOTH対応携帯電話によって、操作が異なる場合があります。お使いの携帯電話の取扱説明書を参照してください。

外部機器を使う

1 音声ケーブル(別売)で外部機器(例: ウォークマン®、スマートフォン、テレビ、DVDプレーヤー、ICレコーダーなど)を本機背面のAUDIO/PARTY CHAIN IN L/R端子につなぐ。

2 AUDIO INランプが点灯するまでFUNCTIONを繰り返し押す。

3 つないだ機器で再生を開始する。

4 音量を調節する。

はじめに、つないだ機器の音量を調節してください。それでも音量が小さい場合は、本機の音量+/-ボタンで音量を調節してください。

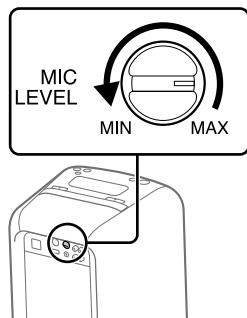
ご注意

つないだ機器の音量が小さ過ぎる場合、本機は自動的にスタンバイ状態になることがあります。その場合は、機器の音量を上げてください。オートスタンバイ機能をオフにするには、「オートスタンバイ機能の設定をする」(36ページ)をご覧ください。

外部マイクを使う

本機に標準プラグのダイナミックマイク(別売)をつなげることによって、本機から声を出力できます。

1 MIC LEVELつまみをMIN側に回して、マイク音量を下げる。



2 MIC端子に外部マイクをつなぐ。

3 MIC LEVELつまみで音量を調節する。

ご注意

Wireless Party Chain機能またはSpeaker Add機能を使っているときは、マイクの音声はマイクをつないだスピーカーからのみ出力されます。

オートスタンバイ機能の設定をする

お買い上げ時は、何も操作がないか音声信号の出力がないまま約15分経過すると、自動的に本機の電源が切れるよう設定されています。

この機能をオフにするには、本機の電源が入っているときに \odot を3秒以上長押しする。

\odot ランプが1回点滅します。

再び機能をオンにするには、この手順を繰り返して行います。 \odot ランプが3回点滅します。

「Sony | Music Center」を使ってこの機能の設定を行ったり、オン／オフの状態を確認したりできます。「Sony | Music Center」について詳しくは、「BLUETOOTH経由で「Sony | Music Center」と「Fiestable」を使う」(25ページ)をご覧ください。

ご注意

- つないだ機器の音量が小さ過ぎる場合、本機は自動的にスタンバイ状態になることがあります。その場合は、機器の音量を上げてください。
- MIC端子を使用しているときは、本機はスタンバイ状態になりません。

充電池の消費を抑える

内蔵充電池で本機を使用しているときにSTAMINAモードをオンにすると、消費電力を抑え、本機をより長い時間駆動できます。

STAMINAを押して、STAMINAモードをオンにする。

STAMINAランプが点灯します。

この機能を解除するには、もう一度STAMINAを押します。

ちょっと一言

充電池の持続時間について詳しくは、「リチウムイオン充電池の持続時間」(45ページ)をご覧ください。

その他の情報

対応機器に関する情報

対応USB機器について

- 本機はUSBマストストレージクラスにのみ対応しています。
- 本機はFAT（exFATを除く）で初期化されたUSB機器にのみ対応しています。
- 一部のUSB機器は本機で機能しないことがあります。

iPhoneおよびiPodモデルのBLUETOOTH通信について

本機で使用できるiPhoneおよびiPodモデルは次のとおりです。(2017年7月現在)

- iPhone 7
- iPhone 7 Plus
- iPhone SE
- iPhone 6s
- iPhone 6s Plus
- iPhone 6
- iPhone 6 Plus
- iPhone 5s
- iPhone 5c
- iPhone 5
- iPhone 4s
- iPod touch（第6世代）
- iPod touch（第5世代）

困ったときは

本機の操作中に問題が起こった場合は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談の前に以下の手順に従ってください。エラーが表示された場合は、参考のため必ず内容を書き留めてください。

1 「困ったときは」の中に問題が記載されていないか確認する。

2 下記カスタマーサポートのウェブサイトを確認する。

<https://www.sony.jp/support/active-speaker/>

こちらのウェブサイトで最新のサポート情報およびQ&Aをご確認ください。

それでも問題が解決しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。サービス担当が修理にあたり部品を交換した場合、これらの部品を保持することがありますのでご了承ください。

全体

本機の電源が入らない。

- 充電してください。
- 電源コードがしっかり接続されているか確認してください。

本機がスタンバイ状態になる。

- これは故障ではありません。何も操作がないか音声信号の出力がない状態で約15分経過すると、本機は自動的にスタンバイ状態になります(36ページ)。

音が出ない。

- 音量を調節してください。
- 外部機器をつないでいるときは、接続を確認してください。
- つないだ機器の電源を入れてください。
- 電源コードを抜いてからもう一度接続して、本機の電源を入れてください。

ブーンという音がする、ノイズがひどい。

- 本機をノイズの原因となっている機器から離してください。
- 本機を他のコンセントにつないでください。
- 市販のノイズフィルターを電源コードに取り付けてください。
- 本機の周りにある電子機器の電源を切ってください。

音響的フィードバック(ハウリング)が起きる。

- 音量を下げてください。

USB機器

つないだUSB機器が充電されない。

- USB機器がしっかり接続されているか確認してください。
- 本機の充電電池の残量が10%未満の場合は、つないだUSB機器の充電はできません。
- 本機を壁のコンセントにつながずに充電電池で使用している場合は、本機の電源を入れてください。

USB機器が正常に動作しない。

- 本機が対応していないUSB機器をつないでいる場合は、以下の問題が起こることがあります。「対応機器に関する情報」(37ページ)をご覧ください。
 - USB機器が認識されない。
 - 再生できない。
 - 音飛びする。
 - ノイズがある。
 - 歪んだ音が出る。

音が出ない。

- USB機器が正しくつながれていません。本機の電源を切り、USB機器をつなぎ直してください。

ノイズや音飛びがある、または音が歪む。

- 本機が対応していないUSB機器をつないでいます。「対応機器に関する情報」(37ページ)をご覧ください。
- 本機の電源を切り、USB機器をつなぎ直してから、本機の電源をもう一度入れてください。
- 音楽データ自体にノイズが含まれていたり、音声が歪んでいます。パソコンで音楽データを作成する過程でノイズが混入した可能性があります。音楽データを作成し直してください。
- 音声ファイルをエンコードするときに使用したビットレートが低いです。ビットレートを高く設定して、音声ファイルをUSB機器に転送してください。

USB機器が認識されない。

- 本機の電源を切り、USB機器をつなぎ直してから、本機の電源をもう一度入れてください。
- 本機が対応していないUSB機器を使用しています。「対応機器に関する情報」(37ページ)をご覧ください。
- USB機器が正常に動作していません。この問題の対処方法については、USB機器の取扱説明書を参照してください。

再生が始まらない。

- 本機の電源を切り、USB機器をつなぎ直してから、本機の電源をもう一度入れてください。
- 本機が対応していないUSB機器を使用しています。「対応機器に関する情報」(37ページ)をご覧ください。

再生が1曲目から始まらない。

- 「Sony | Music Center」(25ページ)を使って、再生モードをノーマル再生にしてください。

ファイルを再生できない。

- 本機はFAT16またはFAT32以外のファイルシステムで初期化されたUSB機器に対応していません。*
- パーティションを分割したUSB機器を使用している場合は、最初のパーティションにあるファイルのみ再生できます。
- 暗号化またはパスワードで保護されたファイルは、再生できません。
- DRM（デジタル著作権管理）の著作権保護付きのファイルは、本機では再生できません。

* 本機はFAT16およびFAT32に対応していますが、一部のUSB機器ではこれらのFATに対応していない場合があります。詳しくは、各USB機器の取扱説明書をご覧ください。製造者にお問い合わせください。

BLUETOOTH機器**ペアリングができない。**

- BLUETOOTH機器を本機に近付けてください。
- 本機の周りに他のBLUETOOTH機器がある場合、ペアリングできないことがあります。このときは、他のBLUETOOTH機器の電源を切ってください。
- BLUETOOTH機器で本機の名前を選ぶとき、パスワードを正しく入力したか確認してください（18ページ）。

BLUETOOTH機器が本体を検出できない。

- BLUETOOTH機能をオンにしてください（24ページ）。

接続できない。

- つなごうとしているBLUETOOTH機器がA2DPプロファイルに対応していないため、本機につなぐことができません。
- BLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能を有効にしてください。
- BLUETOOTH機器から接続を確立させてください。
- ペアリング登録情報が消去されています。もう一度ペアリング操作を行ってください。
- 本機の設定をお買い上げ時の状態に戻してBLUETOOTH機器のペアリング登録情報を消去し（40ページ）、もう一度ペアリング操作を行ってください（18ページ）。
- 本機側のペアリング情報がいったん削除されると、パソコンやiPhone/iPod touchが本機に接続できないことがあります。その場合は、パソコンやiPhone/iPod touch側のペアリング情報を削除してから、もう一度ペアリング操作を行ってください。

音が飛んだり、上下に変動したり、接続が切れたりする。

- 本機とBLUETOOTH機器が離れすぎています。
- 本機とお使いのBLUETOOTH機器の間に障害物があるときは、障害物を取り除いてください。
- 無線LAN搭載機器や他のBLUETOOTH機器、または電子レンジなど電磁波を発する機器が近くにあるときは、それらを本機から離して置いてください。

BLUETOOTH機器の音声の本機から聞こえない。

- BLUETOOTH機器の音量を上げてから、本機の音量+/-ボタンで音量を調節してください。

ブーンという音をする、ノイズがひどい、または音が歪む。

- 本機とお使いのBLUETOOTH機器の間に障害物があるときは、障害物を取り除いてください。
- 無線LAN搭載機器や他のBLUETOOTH機器、または電子レンジなど電磁波を発する機器が近くにあるときは、それらを本機から離して置いてください。
- つないだBLUETOOTH機器の音量を下げてください。

Party ChainおよびSpeaker Add機能

Party Chain機能に切り替えられない。

- 接続を確認してください(27ページ)。
- 音声ケーブルが正しくつながれているか確認してください。
- AUDIO IN機能以外の機能を選んでください(29ページ)。

Party Chain機能が正常に働かない。

- 本機の電源を切ってください。もう一度本機の電源を入れ直し、Party Chain機能に切り替えてください。

Wireless Party Chain機能でBLUETOOTH機器を本機に接続できない。

- すべてのスピーカーをつないだあと、BLUETOOTH機器とW.PARTY CHAINランプが点灯しているスピーカーとの間でペアリング操作を行ってください。その後、BLUETOOTH接続を確立させてください。

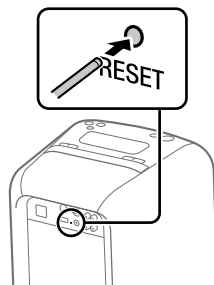
Speaker Add機能でBLUETOOTH機器を本機に接続できない。

- 2台のSRS-XB60をつないだあと、BLUETOOTH機器と ⓑ (BLUETOOTH)ランプが点滅しているSRS-XB60との間でペアリング操作を行ってください。その後、BLUETOOTH接続を確立させてください。

本機をリセットする

電源が入っていても本機の反応がなく操作できない場合は、RESETボタンを使って本機をリセットしてください。

- 1 ピンなど先のとがったものでRESETボタンを押す。



本機の電源が切れます。

- 2 ⏻ を押して電源を入れる。

ご注意

- 本機の電源が入らなくなった場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。
- RESETボタンを押しても、ペアリング情報は削除されません。

本機をお買い上げ時の設定に戻す

それでも本機が正常に動作しない場合は、本機をお買い上げ時の設定に戻してください。

- 1 ⏻ を押して電源を入れる。
- 2 FUNCTION - PAIRINGと音量-ボタンを5秒以上長押しする。
 ⏻ 、 ⓑ (BLUETOOTH)、USBおよびAUDIO INランプが2回点滅したあと、ペアリング情報などお客様が行ったすべての設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

使用上のご注意

安全のために

- 長い間使用しない場合は、電源コードをコンセントから完全に抜いてください。プラグ部分を持って本機のコードを抜いてください。決してコードを引っ張らないでください。
- 異物や液体が本体に入った場合は、本機のプラグをコンセントから抜き、ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店にご相談ください。
- 電源コードは指定のサービスショップでのみ交換できます。

設置について

- 次のような場所には置かないでください。
 - 直射日光の当たる所、暖房器具の近くやサウナなど、温度の高い所
 - 窓を閉め切った自動車内(特に夏季)
 - ほこりの多い所、砂地の土
 - 時計、キャッシュカードなどの近く(録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーに近づけないでください。)
 - 激しい振動のある所
- 平らな場所に設置してください。傾いた場所に設置すると、本機自体の振動により転倒・落下し、けがや故障・性能劣化の原因になることがあります。
- ワックス、油脂、研磨剤などが塗られている場所に、本機を設置すると、変色、染みなどが残ることがありますので、ご注意ください。
- 本機に水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。

放熱について

- 本機を充電中または、長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 大音量で鳴らし続けると、本機キャビネットが熱くなることがあります。このようなときは、キャビネットに触れないでください。
- 温度上昇による故障の原因となるため、通風孔をふさがないでください。

スピーカーシステムについて

内蔵スピーカーシステムは磁気シールドされていないため、近くのテレビの画像が磁気歪むことがあります。この場合は、テレビの電源を切って、15～30分後にもう一度電源を入れてください。改善されない場合は、本機をテレビから離してください。

キャビネットのお手入れについて

本機の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。研磨パッド、研磨剤、シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤は表面を傷めるので、使わないでください。

BLUETOOTH通信について

- BLUETOOTH機器は、見通し距離で約10 m以内で使用してください。以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。
 - BLUETOOTH接続している機器の間に、人体や金属、壁などの障害物がある場合
 - 無線LANが構築されている場所
 - 使用中の電子レンジの周辺
 - その他の電磁波が発生している場所
- BLUETOOTH機器と無線LAN (IEEE802.11b/g) は、同一周波数帯 (2.4 GHz) を使用しています。無線LAN搭載機器の近辺でBLUETOOTH機器を使用すると、電波干渉が発生することがあります。これが、通信速度の低下、ノイズや接続不能の原因になる場合があります。この場合は、次の対策を行ってください。
 - 他の無線LAN搭載機器から10 m以上離れたところで、本機とBLUETOOTH機器を接続する。
 - BLUETOOTH機器を10 m以内の場所で使うときは、他の無線LAN搭載機器の電源を切る。
- 本機が発生する電波は、一部の電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては故障の原因になりますので、次の場所では本機およびBLUETOOTH機器の電源を必ず切ってください。
 - 病院内、電車内、航空機内、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
 - 自動ドアや火災報知機の近く
- 本機は、BLUETOOTH技術を使用した通信時のセキュリティ確保のため、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しています。ただし、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合がありますので、BLUETOOTH技術を使用して通信を行う際はご注意ください。
- BLUETOOTH技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機と同じプロファイルに対応しているすべてのBLUETOOTH機器とのBLUETOOTH通信を保証するものではありません。

- 本機と接続するBLUETOOTH機器は、Bluetooth SIG, Inc. の定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、BLUETOOTH標準規格に適合していても、BLUETOOTH機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法、表示や動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 本機と接続するBLUETOOTH機器、通信環境や周囲の状況によっては、ノイズが入ったり、音が途切れたりすることがあります。

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

2.4 FH1

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

本機を廃棄する

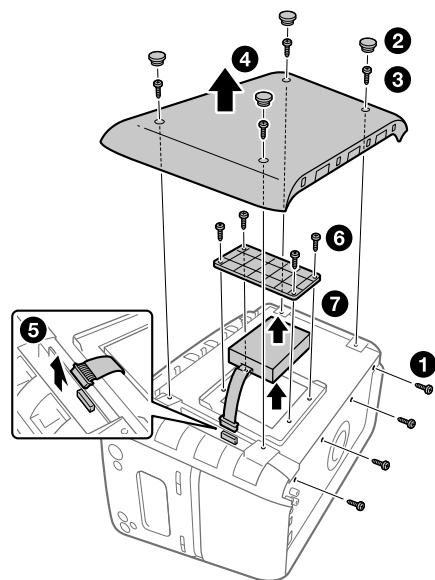
環境保護のためリチウムイオン充電電池を取り出してください。

充電電池を取り外す前に、電源コードを抜いて本機を充電電池のみで使用して、充電電池を使い切ってください。

警告

- 本機を廃棄するとき以外は絶対にキャビネットを開けないでください。
- ご使用済みの電池は家庭ゴミとして捨てないでください。

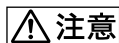
- 1 本機の電源を切って、電源コードを抜く。
- 2 本機を下図のように横向きに置き、充電電池を取り出す。



- ① 本機背面の4個のねじを外す。
- ② 細いマイナスドライバーなどを使用して、本機側面の4か所のゴムカバーを外す。
- ③ 4個のねじを外す。
- ④ カバーを外す。
- ⑤ 充電電池のコネクタを本機から外す。
- ⑥ 充電電池カバーの4個のねじを外す。
- ⑦ 充電電池カバーを外して充電電池を取り出す。

ご注意

- 電池と基板をつないだままにしておくと電気が流れて危険です。基板のコネクターから必ずはずしてください。外すときは、まわりの部品に触れないようにご注意ください。
- 充電電池を取り出すときは、充電電池やコードの被膜に傷をつけないようご注意ください。
- 電池を火の中に入れたり、加熱、加圧しないでください。



日本国内での充電式電池の廃棄について



Li-ion

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、コネクター部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人JBRCホームページを参照してください。
<https://www.jbrc.com/>

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されています。お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書、またはヘルプガイドをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口へ

ソニーの相談窓口(裏表紙)へご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：SRS-XB60
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではワイヤレススピーカーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況やその他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

スピーカー部

ツイーター : 50 mm × 2、コーン型

ウーファー : 130 mm × 2、コーン型

アンプ部

実用最大出力 :

電源コード接続時 : 75 W + 75 W (JEITA*)

バッテリー駆動時 : 35 W + 35 W (JEITA*)

* JEITAは電子情報技術産業協会の略称です。

入力

AUDIO/PARTY CHAIN IN L/R :

電圧 2 V、インピーダンス 10 k Ω

MIC :

感度 1 mV、インピーダンス 10 k Ω

出力

AUDIO/PARTY CHAIN OUT L/R :

電圧 2 V、インピーダンス 600 Ω

USB部および対応音声フォーマット

USB (USB) ポート :

タイプ A、出力電流 2.1 A (最大)

対応ビットレート :

MP3 (MPEG1 Audio Layer-3) :

32 kbps - 320 kbps、VBR

WMA : 32 kbps - 192 kbps、VBR

サンプリング周波数 :

MP3 (MPEG1 Audio Layer-3) : 32/44.1/48 kHz

WMA : 44.1 kHz

BLUETOOTH部

通信方式：

BLUETOOTH標準規格 バージョン4.2

出力：

BLUETOOTH標準規格 Power Class 2

最大送信電力：

< 20.0 dBm

最大通信距離：

見通し距離約10 m¹⁾

使用周波数帯域：

2.4 GHz 帯 (2.4000 GHz ~ 2.4835 GHz)

変調方式：

FHSS (Freq Hopping Spread Spectrum)

対応BLUETOOTHプロファイル²⁾：

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)

HFP (Hands-free Profile)

HSP (Headset Profile)

SPP (Serial Port Profile)

対応コーデック：

SBC (Sub Band Codec)

AAC (Advanced Audio Coding)

LDAC

¹⁾ 実際の通信距離は、さまざまな要因(機器間にある障害物、電子レンジ周囲の磁場、静電気、受信感度、アンテナ性能、オペレーティングシステム、アプリなど)によって変わります。

²⁾ BLUETOOTHプロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

NFC部

最大送信電力：

< 60 dBμA/m (10 m時)

動作周波数：

13.56 MHz

リチウムイオン充電電池部

通常電圧：14.4 V \approx

通常容量：2500 mAh、36 Wh

最大充電電流：1 A

最大充電電圧：16.7 Vdc

リチウムイオン充電電池の持続時間

ライティングがオフのとき：

3.5 時間 (音量を最大(51)に設定したとき)

5 時間 (STAMINAモードがオンで音量を

最大(51)に設定したとき)

10 時間 (JEITA*)

14 時間 (音量を17に設定したとき)

ライティングがオンのとき：

3時間 (音量を最大(51)に設定したとき)

上に示した時間は、

－当社既定の音源を使用して測定されています。

－再生するコンテンツによって変動します。

－充電電池の充電と放電を繰り返すと短くなります。

* JEITAは電子情報技術産業協会の略称です。

一般

電源：AC 100 V、50/60 Hz

消費電力：55 W

スタンバイ状態時消費電力：

BLUETOOTHスタンバイモード オフ時：0.5 W
(エコモード)

BLUETOOTHスタンバイモード オン時：1.5 W
(すべてのワイヤレスネットワークポート オン)

最大外形寸法(幅×高さ×奥行き)：

約264 mm × 552 mm × 272 mm

質量：約8 kg

付属品：電源コード(1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

著作権と商標について

- 本機はFraunhofer IISおよびThomson の MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- Windows Media は米国および／またはその他の国におけるMicrosoft Corporation の登録商標または商標です。
- 本製品にはMicrosoft Corporationの知的財産権の対象である技術が含まれています。Microsoft またはその関連会社から使用許諾を得ることなく、この技術を本製品以外で使用または頒布することは禁じられています。
- BLUETOOTHとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の商標で、ソニーはライセンスに基づき使用しています。
- Nマークは、USA及びその他の国における、NFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
- Android、Google Play、Google Playロゴは、Google Inc.の商標です。
- LDAC™およびLDACロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- iPhone及びiPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- 「Made for Apple」バッジは、アクセサリが本バッジに記載されたアップル製品専用に接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしていることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。本製品をiPod 又はiPhone と共に使用すると、ワイヤレス機能に影響を及ぼす可能性があります。
App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

- “ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

モデル名:SRS-XB60

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

<https://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル…………… **0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話… **050-3754-9577**

修理相談窓口

フリーダイヤル…………… **0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話… **050-3754-9599**
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に

「309」+「#」

を押してください。
直接、担当窓口へ
おつながします。

FAX(共通)0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Made for
 iPhone | iPod



App Store
からダウンロード



Google Play
で手に入れよう



 **Bluetooth®**

LDAC

